

アントニオ・グテーレス国連事務総長の声明
「女性に対する暴力の防止と救済を
COVID-19に向けた国家規模の応急対応のための計画の重要項目とすること」
(2020年4月5日、仮訳)

COVID-19 パンデミックは、世界中で計り知れない人間の苦しみと経済的な荒廃を引き起こしています。

私は先日、このパンデミックを克服する私たちの共通の闘いに集中するため、世界中での即時の停戦を呼びかけました。

私は今、あらゆる場所で暴力に終止符を打つことを訴えています。

しかし、暴力は戦場に限ったことではありません。

多くの女性や女兒にとって、最も安全であるべき場所で脅威が最大に迫っています。

彼女たちの家庭で、です。

そこで私は本日、世界中の家での、そして家庭内での、平和のために新たに訴えます。

都市封鎖と隔離が COVID-19 の抑制に不可欠だと分かっています。しかし、これらは、虐待を行うパートナーを持つ女性を困難に陥れる可能性があります。

過去数週間にわたり、経済的・社会的な圧力と恐怖が増大し、私たちは、家庭内暴力が世界規模で恐ろしいほど急増するのを目の当たりにしてきました。

ある国々では、支援サービスに電話する女性の数が倍増しています。

その一方で、健康・福祉サービスの提供者や警察は、大変な事態に陥り人手不足となっています。

地域の支援グループは、麻痺したり、資金不足に陥ったりしています。DVシェルターの中には、閉鎖されているところもあれば、満員のところもあります。

私は、全ての政府に対し、女性に対する暴力の防止と救済を、COVID-19に向けた国家規模の応急対応のための計画の重要項目とするよう要請いたします。

それは、オンラインサービスや市民社会組織への投資を増やすこと、加害者を引き続き訴追できるよう司法制度を維持すること、薬局や食料品店に緊急警告システムを設置すること、シェルターを必要不可欠なサービスとして宣言すること、そして、加害者に知らされることなく女性が支援を求めることができる安全な方法を確認することを意味します。

女性の権利と自由は、強く、しなやかな社会にとって必要不可欠です。

COVID-19 を打倒するための対応において、私たちは共に協力することにより、紛争地域から人々の家まで、あらゆる場所において暴力を防ぐことができますし、そうしなければならないのです。